

土木紀行

釜ヶ淵堰堤

ながの けん まつもと し あずみ かがみ こうち
長野県松本市安曇上高地

大正4年の焼岳噴火対策として、 釜ヶ淵堰堤を建設

英国人宣教師・ウエトンが見出した国際的山岳リゾート、上高地。年間180万人もの観光客が山と水と緑が作り出す幻想の世界に魅了されて訪れています。わが国屈指の観光地である上高地のシンボルの一つ大正池は、大正4年の焼岳の噴火の翌月に焼岳下堀沢が崩壊して梓川が堰き止められてできたものです。

焼岳からの土砂の流出は、大正池の埋没による発電機能の低下や火山灰土の灌漑水路への沈殿、ワサビ田の排水不良などに加え、その影響は信濃川河口の新潟港への土砂流入など遠くまで及びました。

このような状況にかんがみ、梓川には昭和7年に内務省の梓川砂防工場が開設されて直轄工事が始まりました。そして、昭和9年の大出水を経て、昭和10年には梓川上流域での砂防工事推進の請願が地元から帝国議会になされ、翌11年に釜ヶ

淵堰堤の建設が始まったのです。

練石積によるアーチ式の砂防堰堤として、最も初期で最大級

堰堤形式はアーチ型式です。内部の構造はコンクリートを主体として玉石を埋め込んだ粗石コンクリートです。堤体の表面は現地の石を加工した築石（間知石）を用いた練石積コンクリート構造となっています。

この当時の練石積コンクリート構造でアーチ式の採用は、貯水用の堰堤を含めて全国では数例しかなく、また規模においても高さ29mと、同構造としては当時、わが国において最大級のものです。事業費は合計で約24万円（現在価値で約4億円）でした。

先端的な築造技術の導入

釜ヶ淵堰堤の施工に際しては、①梓川本流に施工すること、②大型のアーチ式堰堤であること、③上高地という著名な観光地に位置する等の条件から、困難を極めました。当時最新鋭の土木機械や施工技術が導入され、本堰堤が昭和18年に、副堰堤が昭和19年に竣工しています。戦争による国内労働力の減少により、朝鮮からの労働者を多用し、その割合は過半数を超えました。

「登録有形文化財」としての登録

釜ヶ淵堰堤で培われた設計思想や築造技術は、その後のわが国におけるアーチ式堰堤や高堰堤建設の手本となり、また、その美しい石積施工とア



位置図

一ちの織りなす形態は、上高地の景観と調和したランドマークとして今も多くの人々に親しまれています。

こうした価値が評価され、釜ヶ淵堰堤は平成14年9月3日に文化庁より「登録有形文化財」として登録を受けました。

新釜トンネルの開通

深い峡谷の道を延々とたどり、釜トンネルをぬけて堰堤を目の当たりにしたとき、開放的な景観の中に落水の様子が天然の滝のように見えて、バスの乗客はその雄大さと美しさに感嘆したと聞きます。平成17年7月、釜ヶ淵トンネルの脇に新釜ヶ淵トンネルが開通しました。新釜トンネルは釜ヶ淵堰堤を迂回するルートのため、直接見る事ができなくなりました。上高地バスターミナル横のインフォメーションセンター内に松本砂防情報板があります。釜ヶ淵堰堤の映像をライブで映し出すとともに、脇には登録有形文化財の登録証が置かれています。

大正池

現在、新釜ヶ淵トンネルを通り抜けて最初に見える景色が、大正池の上に広がる穂高連峰です。しかし、昭和に入ってから焼岳の再噴火、焼岳側からの土砂の流入また、梓川上流からの土砂の堆積によって現在の規模はかなり小さくなり、年月により枯れ木も少なくなっています。

中部山岳国立公園

上高地で最初に自然保護の動きがあったのは、

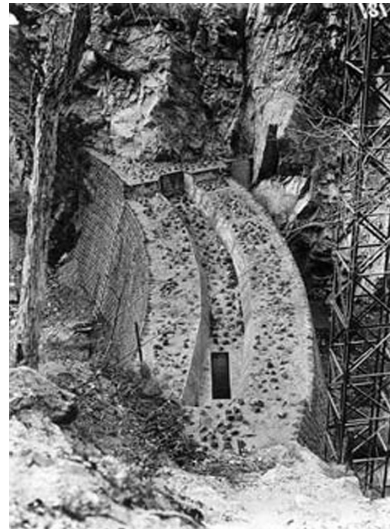


写真 1 工事写真



写真 2 堰堤全景

明治42年のことでした。すでに高山植物の採取を禁止、保護するようになりました。保護の一方で、上高地のバスターミナルと小梨平周辺では、大正4年から約10年をかけて、カラマツの植栽を行いました。雷鳥、カモシカ、岩魚は次々に捕獲が禁止され天然記念物に指定され、上高地自体も天然記念物や国立公園特別保護地区に指定されました。

【交通】

・新島々駅から上高地行きの直通バスまたは、沢渡からシャトルバスにて太兵衛平バス停下車、沢渡方面へ1.3km、徒歩20分

【上高地ファッション考】

・上高地にお越しの際は動きやすい格好が一番です。足元はパンプスやサンダルを避け、厚底の

運動靴やトレッキングシューズで。また、朝夕は冷え込みますのでフリースやスラックスなど、1枚多めの衣服をご持参下さい。雨天を考えるとレインコートと折りたたみ傘もお忘れなく。

【上高地に関するお問合せ先】

・長野県松本市安曇上高地

上高地観光旅館組合事務所
TEL 0263 95 2405

【参考資料】

- 1) 釜ヶ淵堰堤 登録有形文化財：松本砂防事務所，2004.3
- 2) 北陸の土木建築遺産「釜ヶ淵堰堤」：ほっとほくりく，2002.7
- 3) 松本市安曇地区公式HP
- 4) 上高地観光旅館組合HP